

平成23年行政事業レビューシート (農林水産省)

事業名	花粉症対策品種開発技術高度化推進事業	担当部局	林野庁	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～平成24年度	担当課室	研究・保全課	研究・保全課長 出江俊夫				
会計区分	一般会計	施策名	⑫森林の有する多面的機能の発揮					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計画、通知等	森林・林業基本計画、森林・林業・木材産業分野の研究・技術開発戦略等					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程度 以内)	これまでに開発された花粉症対策スギ品種は、開発品種数に地域的な偏りがあり、花粉発生源対策のさらなる推進のためには各地域に適した優良な無花粉スギの開発が必要である。このため、地域に適した優良な形質を有する新たな無花粉スギの開発を加速化する技術や効果的・集約的な育苗技術等の開発を行い、花粉症対策に有効な無花粉スギ等の供給量の増大を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	花粉発生源対策に有効な新たな無花粉スギの開発の加速化に資する、①DNAによる無花粉形質の早期判定技術の開発を行うとともに、②無花粉及び少花粉形質を確実に継承できる挿し木技術について、発根率等を向上させ、効果的・集約的に育る育苗技術の開発を行う。また、③スギの葉や花などの器官から、スギの体内で実際に発現している(働いている)遺伝子を大規模に収集し、雄性不稔(無花粉)に関連する遺伝子の単離と雄性不稔化するメカニズムの解明を行い、④花粉発生制御技術(無花粉化等)の開発を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状況	当初予算	95	78	81	73	36	
		補正予算			▲ 3			
		繰越し等						
	計		95	78	78	73		
	執行額		95	78	78			
執行率(%)		99.6	99.6	99.6				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	目標:花粉症対策品種の開発の加速化に資する技術の開発に必要な事業期間内(5年間)で達成すべき技術実証課題数:29課題 実績:当該年度までに達成した課題数		成果実績	達成済課題数	2課題	7課題	13課題	29課題
			達成度	%	7	24	45	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	無花粉スギと精英樹のF1、F2作出個体総数		活動実績 (当初見込み)	個体総数	334 (F1)	426 (F1)	1,108 (F2) (1,500)	- (1,600)
	無花粉候補マーカーの絞り込み数			マーカー数	-	199	87 (100)	- (30)
	さし木発根率			発根率	-	13 (内生菌の発根阻害)	53 (光による発根改善) (50)	- (75)
	完全長cDNA(タンパク質合成情報をもつ遺伝子)情報獲得総数			cDNA総数	6,990	12,919	18,557 (18,500)	- (22,000)
	組換え体作出総数			系統総数	組換えポプラ:2 組換えスギ:1	組換えポプラ:3 組換えスギ:2	組換えポプラ:3 組換えスギ:3 (組換えポプラ:3) (組換えスギ:3)	- (組換えポプラ:3) (組換えスギ:5)
単位当たり コスト	4百万円/取組課題		算出根拠	22年度執行額/22年度取組課題数=78百万円/18課題=4百万円/課題				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	人件費	36	18	研究成果のとりまとめに重点化し予算要求				
	消耗品費	25	14					
	備品費	2	1					
	役務費	7	1					
	旅費	3	2					
	計	73	36					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	スギ花粉発生源対策の一環として行う本事業は、樹木に関して最先端かつ、極めて公共性が高い研究開発事業であるとともに、採算性の乏しい事業であることから、民間が自発的に率先して実施することは困難であるため国が率先して実施する必要がある。本事業の成果を活用することにより、地元志向に対応可能で林業的価値の高い無花粉スギ等が開発され、それらを早期に供給することが可能となるため、スギ花粉症対策苗木への植え替えの促進が図られる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大い場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に当たっては、一般競争入札（総合評価方式）により決定し、競争性は確保されているが、結果として、一者の応募となった。資金の流れの中間段階での再委託先との契約については、一般競争入札（総合評価方式）を行った際に、本事業を効率的に推進するため、当該委託事業における研究開発の一部について世界的な研究実績を持つ者に、その一部を再委託して共同研究のような形で事業を実施することが明記された提案が採択されたものであり、実質的な競争性は確保されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業の目標として、花粉症対策品種の開発技術として最先端である29課題を設定しており、事業最終年度である24年度に向けて、着実に課題を達成している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業については、品種の開発や植物の増殖技術を有する者を対象に、幅広く参加の機会を募るとともに、より優れた提案により事業を実施することを目的として、総合評価方式による一般競争入札により公募した結果により、事業実施主体を選定した。結果として、一者のみの応募となったが、今後は、関係者等への周知をより一層図ることにより、複数の応募となるよう努める。 事業の進行管理については、担当者による事業実施主体からの事業の進行状況の聞き取りや受託者が開催する推進会議へ出席、四半期毎に予算の執行状況の報告を受ける等により、進捗状況を把握している。また、事業実施主体からの再委託については、提案書提出段階で再委託内容を把握するとともに、再委託先との契約書及び実績報告書により把握している。 本事業により、効率的な花粉症対策品種の開発技術が確立されることにより、新たな無花粉スギ品種の開発が加速化され、スギ花粉症の有病率が国民の3割弱と推計されるなど国民的課題であるスギ花粉症の発生源対策に大いに資することとなる。本事業は、5か年の計画で技術開発を行う内容となっているが、事業の見直しについては、事業開始年度にDNAの大規模収集・分析等を特に必要とすることから、事業開始年度の平成20年度から21年度にかけて予算の削減を実施している。さらに事業の達成状況を踏まえ、平成23年度にも予算を削減している。今後も、各年度の達成状況等を踏まえて必要な見直しを行う。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	本事業は、前年も1者応札があったところであるが、資金の流れのAについて、一般競争入札としているが、1者応札となっている。また、花粉症対策品種開発について、目標設定や成果の検証が不十分である。以上のことから「支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上」、「目標設定と成果測定の実施」を行うべきであり、本事業としては「抜本的改善」とする。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
本事業については、幅広く参加の機会を募るとともに、より優れた提案により事業を実施することを目的として、総合評価方式による一般競争入札により公募し、事業実施主体を選定することとしており、今後も、関係者等への周知をより一層図ることにより、複数の応募となるよう努める。 本事業は、花粉症対策品種の開発技術として最先端である29課題を設定しており、事業最終年度である24年度に向けて、着実に課題を達成していく予定である。本事業により、効率的な花粉症対策品種の開発技術が確立されることにより、新たな無花粉スギ品種の開発が加速化され、スギ花粉症の有病率が国民の3割弱と推計されるなど国民的課題であるスギ花粉症の発生源対策に大いに資することとなる。事業最終年度である平成24年度は、5年間の研究成果のとりまとめに重点化し、予算要求を行っている。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

農林水産省
78百万円



【一般競争入札(総合評価方式)】

A 独立行政法人 森林総合研究所
78百万円

- ① 無花粉スギと精英樹の人工交配で得られた個体について、無花粉形質の有無を早期に判定する技術の開発を実施
- ② 形質を確実に継承できる挿し木技術について、発根率等を向上させ、効果的・集約的に育える育苗技術の開発を実施
- ③ スギの無花粉化技術の開発に必要な遺伝子の単離と発現機構の解明を実施
- ④ 花粉発生制御技術等の開発を実施



【随意契約※】

B 独立行政法人
理化学研究所
5.0百万円

スギ完全長cDNA
(遺伝子)の塩基配
列解読と機能分類
業務を実施

【企画競争入札】

C 公立大学法人
大阪府立大学
1.9百万円

スギのさし木発根の
ためのボトムヒート
処理における最適環
境条件の検討業務
を実施

【一般競争入札】

D MKVドリーム
株式会社
1.5百万円

ボトムヒート処理装
置と閉鎖型育苗装置
の基本構造の改良
業務を実施

※Aの一般競争入札(総合評価方式)を行った際に、その一部を再委託して共同研究のような形で事業を実施することが明記された提案が採択されたものであり、実質的な競争性は確保されている

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 独立行政法人 森林総合研究所			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	特別研究員 (3名、計368日)	13.2			
	賃金	分析等補助者等	3.2			
	委員旅費	外部有識者等旅費 (4名、計4回)	0.1			
	研究員旅費	材料採取等 (15名、計26回)	0.9			
	役務費	圃場整備用重機賃借等	20.0			
	消耗品費	分析試薬、理化学器具等	23.8			
	備品費	研究開発用理化学機器	1.4			
	謝金	推進会議に参画する外部有識者への謝金	0.0			
	一般管理費	光熱水料等	6.2			
	消費税相当額		0.8			
	外部委託費	スギ完全長cDNAの機能分類等	8.4			
	計		77.9	計		0.0
	B. 独立行政法人 理化学研究所			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	委託事業打合せ (1名、計1回)	0.0			
	消耗品費	分析試薬等	2.4			
	賃金	分析等補助者	2.1			
	一般管理費	光熱水料等	0.5			
	計		5.0	計		0
	C. 公立大学法人 大阪府立大学			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	研究員 (1名、計27日)	0.5			
	旅費	委託事業推進会議出席等 (2名、計3回)	0.1			
	役務費	人工気象器環境調整費	0.2			
	消耗品費	分析試薬等	0.5			
	備品費	研究開発用理化学機器	0.5			
	間接費	光熱水料等	0.2			
	計		1.9	計		0
	D. MKVドリーム株式会社			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	役務費	さし穂トレー試作等	1.1			
	消耗品費	育苗施設用器具等	0.3			
	間接費	事務処理費等	0.0			
	計		1.5	計		0

支出先上位10者リスト

A. 独立行政法人

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独) 森林総合研究所	遺伝子組み換えによる花粉発生制御技術等の研究開発を実施	61.5	1	97.8
2	(独) 森林総合研究所	無花粉形質の早期判定手法の開発及び効果的・集約的育苗技術の開発等を実施	16.4	1	96.9
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 独立行政法人

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独) 理化学研究所	スギ完全長cDNA (遺伝子) の塩基配列解読と機能分類	5.0	随意契約 (企画提案 段階で決定)	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C. 公立大学法人

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公) 大阪府立大学	スギのさし木発根のためのボトムヒート処理における最適環境条件の検討	1.9	1	企画競争
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D. 民間会社

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	MKVドリーム株式会社	ボトムヒート処理装置と閉鎖型育苗装置の基本構造の改良	1.5	1	91.6
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					